

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

- 01 第4回理事会
平成29年度活動計画・予算案、第8次中期運営要綱などを承認
- 03 女性活躍研究会第5回を開催
- 04 委員会報告
科学技術／茨城産業会議／地域関係／
- 05 支部だより
日立／水戸／常陸・那珂／土浦・石岡・つくば／鹿行
- 08 「平成28年度会員増強運動」の状況
～お蔭様で過去最高を更新中 会員数1,117社～
- 09 新入会員のご紹介
- 11 出向者退任ならびに就任のお知らせ
- 12 NPO情報Vol.198<横田能洋>
「5年目を迎える『いばらき未来基金』」
- 13 いばらきの理解を深める9支部めぐり①<葛田一雄>
- 15 平成29年度・セミナー開催のご案内

第4回理事会

平成29年度活動計画・予算案 第8次中期運営要綱などを承認



当協会は、3月17日(金)、茨城県産業会館において、**平成28年度第4回理事会**を開催した。

会議には理事、監事、参与50名が出席した。

冒頭、鬼澤邦夫会長が挨拶に立ち「日銀水戸事務所の金融経済概況によりますと、『緩やかに回復しつつある』との見方は変わっておりませんが、トランプ新政権の経済対策や、英国のEU離脱交渉などをリスク要因として挙げており、私ども、そのあたりを注意深く見守りながら、気を引き締めて企業経営にあたっていく必要があると感じております。本年度は、平成26年度から28年度までの3カ年計画の「第7次中期運営要綱」の最終年度であり、会員・地域から“頼りにされる”茨城経協へと進化するに則り、事業活動を展開してまいりました。会員

増強活動につきまして、役員の皆様のご協力により当初の目標を大幅に超え、1,108社に達しました。皆様のご協力に対し心より感謝申し上げますとともに、引き続きご協力をお願いいたします。本日は、事業活動報告、事業計画案、収支予算案、第8次中期運営要綱などについてお諮りしたい。忌憚のないご意見をいただきたい」と述べた。

続いて、①会長および専務理事の職務遂行状況と平成28年度事業活動報告及び同収支決算(見込)、②新入会員の入会の承認、③平成29年度事業活動計画案及び同収支予算案、④第8次中期運営要綱案が承認された。(活動方針・重点事項は右記参照)特に、第8次中期運営要綱では、会員の声に耳を傾け、会員・地域から“頼りにされる”茨城経協に進化するとの基本理念を実現すべく、会員訪問ヒア

リングを積極的に展開、得られた会員の声や要望を活動に反映していく計画について事務局より説明があった。

議事終了後、茨城県警察本部刑事部組織犯罪対策統括官の生井沢一夫氏を招き「暴力団犯罪とニセ電話詐欺の現状と対策について」と題した講演を伺った。

平成29年度の活動方針(案)

平成29年度は、第8次中期運営要綱(平成29年度～31年度の中期計画)の初年度であり、要綱に掲げた『会員の声に耳を傾け、会員・地域から“頼りにされる”茨城経協へと進化すること』をめざし、①会員へのフォロー、情報収集・情報発信の強化、②会員交流機会の拡充、③研修・セミナー事業のさらなる内容充実、④地域社会への貢献活動の強化、⑤政策提言力の向上の5つの重点に取り組んでまいります。

会員の皆様の声や要望を積極的にヒアリングさせていただき、課題解決、経営力向上を支援し、企業活力の高揚に取り組み、地域経済・地域社会の活性化に貢献してまいります。

また、東日本大震災及び関東・東北豪雨からの復旧・復興を図るべく、引き続き、関係機関との連携協力に努め、役割を果たしてまいります。

平成29年度重点事業

1. 会員へのフォロー、経営力向上のための情報収集・情報発信の強化
 - (1)会員訪問活動の強化、得られた要望を踏まえた事業活動の展開
 - (2)経営・人事・労務・人材育成、人材確保分野の情報収集・発信
 - (3)人事労務および環境経営等の経営労務相談活動の充実
2. 会員相互のネットワークづくりのための交流機会の拡充
 - (1)時間、テーマ、場所、人数など新たな切り口の交流機会の拡充
 - (2)会員企業の経営力・技術力向上とビジネス交流の機会の提供・支援
 - (3)多様な交流機会の拡充（青年経営研究会、女性活躍研究会等）
3. 会員のニーズを踏まえた研修・セミナー事業の充実
 - (1)会員の声を踏まえた、研修・セミナー内容のスクラップ&ビルド推進
 - (2)先進的経営、環境経営、人材育成の事例紹介・勉強会の開催
 - (3)“働き方改革”等、人事労務分野の研修・セミナーの充実
4. 「豊かな茨城づくり」のための社会貢献活動の強化
 - (1)新たな地域貢献活動の展開
 - (2)「安全安心なまちづくり運動」の継続
 - (3)次世代を担う若者の育成のための「県内大学への寄付講座」の継続
5. 地域社会発展のための政策提言力の向上
 - (1)会員ニーズ把握、政策提言・要望活動とその実現
 - (2)経団連、茨城産業会議を通じた政策提言・要望活動
 - (3)要望内容の検証と会員へのフィードバック強化

創立70周年記念式典及び29年度定時総会開催(予定)

平成29年6月7日(水) 14時00分～18時30分

水戸プラザホテル（水戸市千波町）

タイムスケジュール：

定時総会（14時00分～14時45分）

創立70周年記念式典（14時50分～15時30分）

感謝状贈呈

創立70周年記念講演（15時40分～17時00分）

演題 「茨城県経営者協会創立70周年に寄せて～イノベーションとグローバル化～」

講師 新日鐵住金株式会社相談役 友野宏氏（経団連副会長）

祝賀パーティ（17時10分～18時30分）

女性活躍研究会第5回を開催

～鬼澤会長、東京フードの藤田課長を迎え情報交換～

3月14日(火)、第5回女性活躍研究会を水戸京成ホテルにて開催した。最初に鬼澤会長が、「安倍内閣では、経済再生に向けた「3本の矢」の1つ「成長戦略」の中で、「女性活躍」と「経済活性化」を結びつけており、今まで活用されてこなかった「女性の力」は、新しいイノベーションを生み出すものとして注目されています。女性活躍を推進することは、人材の確保に留まらず、企業にも多様な価値観や創意工夫をもたらします。日本経団連の「女性活躍支援・推進等に関する調査」においても、女性活躍支援・推進に取り組む目的は「優秀な人材の確保・定着のため」「女性従業員の視点が経営上のメリットに繋がる」との回答が過半数を占めます。しかしその一方で、女性活躍は進めたいが、なかなか進まないという企業が多いのが現状です。私は女性活躍を会社全体で推進して行くためには4本の柱が必要であると思います。1つ目が「経営トップから新入社員まですべての社員の意識改革」、2つ目が「実態に即した柔軟な就業環境の整備」、3つ目が「職務領域の拡大」、そして4つ目

が「計画的なキャリアパスの実施」です。この枠組を基本として、実現させるための具体的な施策と目標を掲げ、いわゆるPDCAとして全社的に取り組んで行くことが実現の鍵になると思います。皆様にとりまして有意義な交流の場となることを期待しております。」と挨拶。

本年度の女性活躍研究会は、初回に、茨城県の森田女性政策統括監から茨城県の取り組み、エミーの渡辺社長から企業の取り組みについてのお話、第2回から第4回については、東京フード(株)の丹羽社長のリーダーシップと同社の藤田課長の様々

な工夫により女性活躍に先駆的に取り組む東京フード(株)の素晴らしさを学んだ。今回の第5回研究会は、共に学ばれた参加者から同じメンバーで情報交換を行いたいという強い希望を踏まえ、新たに日程を追加し開催した。情報交換では、各自の近況報告、東京フードの藤田課長にお聴きしたい事などを4グループに分かれ討議。女性活躍を進める上での各自の抱える課題について、藤田氏からアドバイスもいただいた。その後も会場を移し、フリーディスカッションを行い、和やかな雰囲気の中、散会した。



科学技術特別委員会

(株)小松製作所 茨城工場を見学

科学技術特別委員会(委員長 村山貢一氏 (株)日立製作所日立事業所長)は、去る3月14日(火)、「ものづくり先進企業見学会」を開催し、計60名が参加した。

本見学会は例年、会員企業の製品開発能力や技術向上の一助として、ものづくりをされている先進企業の取り組みを見聞し、生産現場の改善や革新的なものづくり精神などを学ぶ機会として実施している。

今回のものづくり先進企業見学会では、建設・鉱山機械のシェアが世界第2位で、大型ダンプトラックやホイールローダーを生産している、(株)小松製作所茨城工場のご協力をいただいた。

当日は始めに、同社執行役員茨城工場長の鈴木氏より、ご挨拶と会社概要等についてのご説明の後、コマツ流IoT戦略“建設機械のつながる化”による工事現場改革について、同社改革

室長の福嶋氏より紹介いただいた。

同社はエンジンや油圧機器など主要構成部品を日本国内で自社開発し、鋳造工程なども自社で生産。これにより主要構成部品を設計の源流から見直して商品力を向上させるとともに、世界最高水準の品質・コスト・納期を織り込み、世界の本体組立工場に供給している。また、他社が数年では追いつけない優れた特徴を持つ商品を“ダントツ商品”と呼んでいる。これはハイブリッド建機や無人走行ダンプトラック等に代表され、これらを使った“ダントツサービス”を提供。業界に先駆けて開発されたICT建機は、自動制御により初心者であっても熟練者と同精度に施工出来るため、人手不足という建設現場の課題

解決に貢献している。平成28年度には、地球にやさしい企業表彰(茨城県が実施)において“環境マネジメント部門”を受賞し、地球環境保全行動などにも積極的に取り組んでいる。

参加者からは「建機にセンサーを搭載することで、建機の位置のみならず、稼働時間・運転内容・燃料残量などの情報の遠隔管理が可能になっていることに驚いた。ものづくりのつながる化による生産改革を学び、多くの気づきを得ることができ大変有意義な見学会であった」などの感想が寄せられた。



茨城産業会議

茨城大学理学部研究室訪問交流会を開催

茨城産業会議(鬼澤邦夫議長: 経営者協会が事務局)は、大学との産学連携事業である「茨城大学理学部研究室訪問交流会」を3月3日(金)に開催した。

この研究室訪問交流会は、平成13年に茨城産業会議と茨城

大学が産学連携協定を結んだことをきっかけに始まり、理学部訪問は今年で9回目となる。理学部の研究室訪問交流会は、茨城大学との産学連携事業として、農学部と隔年で開催している。本交流会は、大学の有するシーズの提供や情報交換を通じ、産業界との交流の活性化を図ることを目的としている。当日は理学部において2件の特別講演会、8件の実験室・研究室の見学ならびに、理学部6件、人文学部5

件のポスターを展示した懇談会を開催、56名が参加した。

参加者からは、「専門的な分野も多いが、実際に研究室を見学するなかで、研究の目的や将来性に関して理解を深めることができた」、「学生の研究に対する熱意が伝わってきた」などの声が寄せられた。また、研究への取り組みだけでなく、就職状況についての報告や学部生と企業担当者との交流の機会が設けられ、深耕を図ることができた。



地域関係委員会

第2回 地域関係委員会を開催 28年度事業の振りかえりと次年度事業について協議

地域関係委員会(委員長 徳成卓也氏 東日本電信電話(株)理事 茨城支店長)は、3月7日(火)、経営者協会会議室において、本年度第2回目となる委員会を開催。徳成委員長、豊崎繁副委員長(茨城いすゞ自動車(株)代表取締役社長)はじめ、14名の委員出席のもと、28年度事業活動の振りかえりと次年度事業について協議された。

28年度事業の振りかえりでは、①茨城のイメージアップ(※昨秋開かれた“県北芸術祭”の県内外へのPRを目的とした有名ブロガー活用の広報、鑑賞チケットプレゼントキャンペーン事業など)、②委員会主管の各研修事業アンケート結果の精査(※コンプライアンス、売上アップセミナー、共助社会づくりフォーラムなど)が行われた。

続いて次年度事業については、茨城経協創立70周年の節目を迎えるにあたり、従来の社会貢献事業については継続&ブラッシュアップに努めるとともに、新たな社会貢献事業の検討がなされ、フードバンクやこども食堂への支援をテーマに更に検討を進めていくこととなった。

地域関係委員会

クラウドファンディングセミナーを開催

地域関係委員会(委員長 徳成卓也氏 東日本電信電話(株)理事 茨城支店長)は3月21日(火)、茨城県産業会館において“クラウドファンディングセミナー”を開催。20名が参加。

当研修は、新たな資金調達ツールとして注目されている「クラウドファンディング」について学ぶべく開催されたもの。テーマを「クラウドファンディングの可能性と将来性を探

る」とし、講師には、この分野で圧倒的な実績を誇るREADYFOR株式会社のキュレーターである齋藤悠太氏にご指導頂いた。

研修では、まず、クラウドファンディングの基本的な仕組みについてお話を頂き、続いて、茨城県内において同社が手掛けた具体的なプロジェクト事例について説明を頂いた。

受講者からは、「今後の資金調達のひとつとして非常に参考になった」や「事例が具体的に分かりやすかった」と前向きな声を頂いた。



支部だより

April. 2017

Branch office report

日立地区支部

支部総会を開催 小川春樹日立市長をお招きする

日立地区支部(支部長 館岡司氏 日立電鉄交通サービス(株)取締役社長)は、3月23日(木)、ホテル天地閣において支部総会を開催した。

支部総会では、水出浩司幹事長(株)日立製作所日立事業所庶務課長)より平成28年度支部活動報告がなされた他、協会活動報告、新入会員紹介が行われた。出席者は65名であった。

総会終了後は、記念講演会として日立市長の小川春樹氏をお招きし、「地方創生と産業活性

化」についてご講演頂いた。

講演では、日立市における人口流出の現状に触れられ、日立市から他市に流出している大きな層は20歳～39歳までの若年層と子育て世代であると指摘。若年層と子育て世代の流出を防ぐことが日立市の重要施策であり、具体的には産前・産後ママサポート事業、マタニティ子育てタクシー費用助成事業、住宅取得支援事業など、特色ある支援策を

展開している。結びに、地方創生のカギは、「ないものねだり」から「あるもの探し」への発送転換が必要であり、「ふるさと日立」を見つめ直し、郷土への愛着や誇りを醸成したり、100



年を超える「ものづくりのまち」の先人達の残した進取・共生の

精神を学ぶことで、安心と活力に満ち、市民の笑顔輝くまちづ

くりを推進したい、と力強く述べられた。

日立地区支部、常陸那珂地区支部、水戸地区支部

平成28年度労働行政懇談会を開催

日立地区支部(支部長 館岡司氏日立電鉄交通サービス(株)取締役社長)、常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長)、水戸地区支部人事労務担当者会議(代表幹事 川上康郎氏 茨城交通(株)常務執行役員総務部長)は、3月8日(水)、茨城県産業会館大会議室に

おいて、労働行政懇談会を開催、定員を上回る77名が参加した。

当懇談会は茨城労働局より講師を招き、労働関連法制や行政施策についての理解を深めることを目的に例年開催している。今年度については、法改正や実務面から要望の多かった以下の

4つのテーマにて開催した。冒頭、主催者を代表し、水戸地区支部人事労務担当者会議代表幹事の川上康郎氏よりご挨拶いただいた後、茨城労働局の担当講師による説明、その後質疑応答を実施し、活発な意見交換がなされた。



<当日の内容>

テーマ①「改正育児・介護休業法」について

講師：茨城労働局雇用環境・均等推進指導官 大和田 真由香氏

テーマ②「働き方改革(同一労働同一賃金等)」について

講師：茨城労働局雇用環境・均等室室長補佐 大畠 成明氏

テーマ③「有期契約労働者の円滑な無期転換」について

講師：茨城労働局雇用環境・均等室室長補佐 大畠 成明氏

テーマ④「高齢者の雇用促進」について

講師：茨城労働局職業安定部職業対策課高齢者対策担当官 鈴木 亮一氏

水戸地区支部

経営セミナーを開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏(株)水戸京成百貨店代表取締役会長)は、3月6日(月)、茨城県産業会館研修室にて「経営セミナー」を開催、25名が参加した。

講師には、竹内哲也氏(スマイルゲート(株)代表取締役)をお招きし、「地域ブランドによる地域と企業の活性化～地域と企業が生き残るイメージのつくり

方～」と題し、香川県における地域資源の活用事例や地域ブランドで活性化する手法について講演いただいた。

受講者からは、「事例が具体的に分かりやすかった」、「地域創生の具体的なイメージが理解できた」、「プレゼンが資料、説明共に的確で分かりやすかった」といった前向きな意見も数

多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなった。



常陸・那珂地区支部、水戸地区支部

人事労務セミナーを開催

常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役)と水戸地区人事労務担当者会議(代表幹事 川上康郎氏 茨城交通(株)常務執行役員総務部長)は共催により、3月15日(水)、茨城県産業会館大会議室で“人事労務セミナー”を開催。参加者数は74名。

例年開催している同セミナーは、“使用者の視点に立った指導で非常に解りやすい”と参加者からの評価が高い、丸尾法律事務所の丸尾拓養弁護士をお招きし解説いただくもので、今回は「ローパフォーマー対応の最新法律実務」をメインテーマに実施された。

丸尾氏は「昨今、問題言動のある従業員への対応が変化を見



せ始めており、勤務成績・勤務態度不良よりも、個人と組織・仕事との不適合が原因で、結果として“適応障害”が生じたり、“性格傾向”“精神的不調”などが真因となる紛争がでてきてい

ます」と語り、判例を基にしながらか解説いただいた。

参加者アンケートでは「会社としてのスタンスを決めた後、具体的なアプローチ手法、特に従業員に“ボール”を渡し、指

導を試みるも“改善がみられない”という事実を積み重ねていくなど、自社では対処していなかった点などは大変勉強になった」といった感想などが寄せられた。

土浦・石岡・つくば地区支部

人事労務研究会・第4回例会を開催

土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 本井正氏 日立建機(株)執行役生産・調達本部長)の人事労務研究会(代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス(株)代表取締役社長)は3月2日(木)、カスミ・つくばセンターにおいて第4回例会を開催した。

本例会では、「企業における女性活躍推進の先進事例に学ぶ」をテーマに、2006年からトップの強いコミットメントを軸として、人を大切にする企業理念を基に成長をサポートする

仕組みづくり、女性店長の誕生、女性かがやき委員会の設置、Facebookを活用した各店舗の現場の創意工夫など、職位職種を超えて情報共有するソーシャルシフト活動など、時代に先駆けて様々な施策を展開されておられる株式会社カスミ様に、その取り組みについて講演頂き、さらに、参加者全員が自社において女性の活躍を推進させるための施策についてディスカッションを行った。

はじめに、当会副会長でもある同社取締役会長の小濱裕正氏に「株式会社カスミにおける経営戦略について」ご講演を頂き、続いて、同人事本部人材育成部マネジャーの堀悦子氏に「株式会社カスミに

おける女性活躍推進の取り組みについて」発表頂いた。

同社における女性活躍の推進のポイントは、伝統的なスーパーマーケット業界の負の体質でもある長時間労働を変革すること。長時間労働が前提の働き方では、結果的に女性は評価され難い組織になってしまう。特に、店舗における店長、次長といった管理職の長時間労働を無くすことを目標とした。これまでの長時間労働の風土、伝統を改革するためには、経営トップが絶対に改革を断行する、成し遂げるといふ本気度を示し続けられるかが鍵となる。同社では、2020年までに30名の女性店長を実現する、という目標を掲げ、更なる改革に取り組んでいる。



鹿行地区支部

経営セミナーを開催

鹿行地区支部(支部長 木村真人氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長)は、3月3日(金)、新日鐵住金人材育成センター(鹿嶋市)において、経営セミナーを開催した。

本セミナーは、経営幹部、管理職、職員の自己研鑽に資するべく、専門性の高い講師を招聘し、様々なスキルを習得することを目的に例年開催している。

講師には、(株)ii(イイ)代表取締役の上久保瑠美子氏をお招きし、『お金をかけずに地元客を

ガッチリ掴む「地域密着型の集客」』と題し、ご講演を頂いた。

講師からは、「“出来ない理由”を探すのではなく、“どうすれば出来る”のかを考える思考回路が最優先事項である。また、“業界の常識”を鵜呑みにせず、異業種、異世代、異地域からの視点、手法を真似る。」など講師の実体験を元にお話を頂いた。

60分の講演の後、30分間のグループディスカッションを行った。

参加者からは、「非常に分かりやすく、明日にでも試してみたい。」「確かな実績があるからこそ、説得力があった。」などの感想が寄せられた。

参加人数は、20名。



「平成28年度会員増強運動」の状況

～お蔭様で過去最高を更新中 会員数1,117社!～

【会員の状況】

	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡・つくば	取手・龍ケ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計
27年度未会員数	40	103	94	283	162	69	75	53	102	981
入会数	6	3	20	41	25	9	24	8	35	171
退会数		9	2	4	6	5	1	4	4	35
会員数	46	97	112	320	181	73	98	57	133	1,117
								前年度		+136
								平成28年度目標 (第7次中期運営要項目標)		1,060 (1,000)
								目標比		+57

プラス70会員紹介キャンペーンについて

今年7月、茨城県経営者協会は、創立70周年を迎えます。

当協会が創立70周年を迎えるにあたり、会員や地域の皆様からさらに頼りにされるための礎を築くべく、皆様のご紹介により会員数純増70社を目指す会員紹介キャンペーンを下記の通り展開中です。

■キャンペーン実施期間：平成28年12月～平成30年3月31日

※重点実施期間 ～平成29年6月7日（70周年記念式典）迄

■29年度末目標会員数：1,130社（キャンペーン目標）

（平成29年3月31日現在）

【キャンペーンの進捗状況およびご紹介のお願い】

プラス70会員紹介キャンペーンがスタートし、4ヶ月弱ですが、皆様のおかげをもちまして、73社のご紹介及びご入会を頂きました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。「自社の経営を高めたい」、「地域に貢献したい」企業様のご紹介をお待ちしております。

詳しくは茨城県経営者協会事務局（TEL029-221-5301）までご連絡下さい。

新入会員紹介

株式会社 アコオ

■代表取締役 宇都宮 浩



Data
所在地／水戸市谷津町細田1-12
水戸西流通センター内
TEL／029-251-3016
FAX／029-252-7164
業種／建設業
従業員／30名

Appeal point

弊社は昭和40年創業以来、官公庁発注の交通安全施設工事を中心に事業を展開してまいりました。おかげさまで去年50周年を迎える事ができ、今では交通安全施設工事のほか、土木・建設工事と幅広い事業を展開する事が出来るようになりました。近年、官公庁の工事に並行して民間からの工事受注にも力を入れております。駐車場の駐車枠が見えにくくなっている・舗装が痛んで穴が空いている・建物の外壁が汚れてきた・雨漏りがするなど、お困り事やご相談がありましたらお気軽にお声掛け下さい。納得のできる良いご提案ができるかと思えます。

株式会社 イイダモールド

■代表取締役 飯田 秀夫



Data
所在地／筑西市下野殿1028-2
TEL／0296-22-7256
FAX／0296-22-7419
業種／金型設計製作・商品
企画開発
従業員／10名

Appeal point

弊社は1995年に金型設計事務所として創立し、製造もアウトソースする形で請け負ってきました。

製造業を取り巻く環境は下降の一途をたどるなか、新興国であるベトナムの発展に運気を感じ、ベトナム人エンジニアの育成を行い、2008年にはベトナムに金型設計事務所を設立しました。その後2016年には20名体制の金型工場をオープンし日本品質をベトナム価格で提供する体制を整えました。今後もお客様から信頼されるパートナーとしての発展を目指していきたいと思えます。

スズキ造園土木 株式会社

■代表取締役 鈴木 武士



Data
所在地／つくば市寺具
1011番地の1
TEL／029-869-0500
FAX／029-869-0277
業種／造園・土木工事業・
緑地メンテナンス・
芝生生産販売
従業員／20名

Appeal point

芝生生産日本一の茨城県つくば市で、弊社は昭和44年に「鈴木造園」として芝生生産販売業から創業いたしました。生産に加え、芝に関する工事を受注するようになり、昭和58年には「スズキ造園土木 株式会社」を設立し、現在では、芝生生産販売だけでなく、造園工事・ゴルフ場関連工事・一般土木工事、そして緑化メンテナンスを営業の柱としています。

有限会社 塚原商店

■代表取締役 塚原 実



Data 所在地／猿島郡境町1601
T E L／0280-87-0176
F A X／0280-87-1877
業 種／飼料販売、飲食業
従業員／4名

Appeal point

昭和28年4月設立、飼料販売並びに輸入牧草。家畜農家、地域に密着し創立以来のお客様と代替わりしても、長いお付き合いをさせて頂いております。平成29年2月飲食業の設立をしました。ファラヘルを使ったヘルシーなヴィーガンフードを始めました。

株式会社 ヒバラコーポレーション

■代表取締役 小田倉 久視



Data 所在地／那珂郡東海村村松
3135-85
T E L／029-282-7133
F A X／029-283-2777
業 種／工業塗装・ソフトウ
エア
従業員／42名

Appeal point

工業塗装とIT融合を長年にわたり追求して実績に培われたIOT型工業塗装によりお客様の製品塗装の問題を解決します。また溶剤・粉体・カチオン電着の組み合わせによるコスト・スピード・品質・環境のベストマッチングをご提案します。工業塗装分野におけるIOT型工業塗装を推進しております（人・環境・生産・技術・コスト）最適コントロール。

株式会社 宝山産業

■代表取締役社長 柳川 隆則



Data 所在地／神栖市太田3234-1
T E L／0479-46-1411
F A X／0479-46-1414
業 種／高圧ガス製造販売
従業員／18名

Appeal point

昭和31年8月に先代柳川登郎が創業して昨年60周年を迎えました。酸素、窒素、炭酸、アルゴンといった工業用ガスの充填販売、医療用ガスも取扱っております。鹿島開発と共に歩んで来て、鹿島臨海工業地帯および地場の産業の発展に貢献することを社是としております。

マニユライフ生命保険 株式会社 神栖営業所

■神栖営業所長 神山 勝



Data 所在地／神栖市平泉東
1-64-182
ミヨヒコビル3F
T E L／0299-93-9571
F A X／0299-93-9580
業 種／保険業
従業員／12名

Appeal point

あなたの人生の中で一番大事なものは何ですか？命（健康）・お金（資産）・家族（愛情）…ほとんどの方がこう答えることでしょう。我々マニユライフ生命は1887年の創業以来、お客様の身に起こりうるリスク（病気・税金・インフレなど）からおお客様をお守りし、安心した生活を送って頂くための最新情報を提供させて頂いております。たった一度のあなただけのかけがえのない人生です。ぜひ一度、これからのことを共に本気で考えてみませんか？

出向者退任のお知らせ

3月末日をもちまして、(株)筑波銀行様から協会事務局にご派遣頂いておりました笹沼泰之氏が退任致しました。笹沼氏の協会運営に対しますご尽力に厚く御礼申し上げます。また、同氏をご派遣頂きました(株)筑波銀行様に重ねて厚く御礼申し上げます。



笹沼 泰之氏

平成27年4月、経営者協会事務局に着任以来、2年間の在任中は、ひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。会員の皆様をはじめ多くの方々との出会い、数多くの貴重な経験をさせて頂きました。あっという間ではございましたが、私の今後の人生においてかけがえのない財産になりました。こうして無事に任期を終えることが出来ましたことは、皆様の温かいご支援ご指導のおかげと心より御礼申し上げます。筑波銀行に戻りましても、より一層のご指導ご厚誼を賜りますよう、伏してお願いを申し上げます。今までお世話になり、本当にありがとうございました。

出向者着任のお知らせ

4月1日付で(株)筑波銀行様より柳澤宏光氏を協会事務局にご派遣頂きました。平成31年3月末までの2年間協会運営にご尽力頂きます。



柳澤 宏光氏

4月1日付で、(株)筑波銀行より協会事務局に派遣されました柳澤宏光です。協会運営の担当業務は産業政策委員会、経営教育委員会、科学技術特別委員会および日立地区支部、水戸地区支部、土浦・石岡・つくば地区支部、県西地区支部となります。微力ではありますが、地域の為、会員の皆様のお役に立てますよう頑張りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

5年目を迎える「いばらき未来基金」

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

いばらき未来基金は、認定特定非営利活動法人という資格を有する茨城NPOセンター・コモンズが寄付仲介を行うために設置しています。経協はじめ連合茨城、茨城新聞社、生協、農協などの方々に運営委員会を設け運営しています。この基金は、2011年2月に開催された地域円卓会議in茨城において、個人や団体が安心して寄付先を選べるようにし、地域の市民活動を地域で応援する仕組みを作ろうとの合意がなされ設立された経緯があります。

茨城には800を超えるNPO法人ができています。基金は、その中から寄付者が寄付先を選べるようにしたり、税制面での優遇措置が得られるようにしています。個人であれば税額控除の対象となり寄付額の約半額が還付されます。法人が寄付する場合、寄付金の損金算入額が通常倍使えます。

基金はこれまで4つの寄付仲

介を行ってきました。一つ目は寄付先をカタログの中から選ぶ事業指定助成(現在は終了)、二つ目は東日本大震災や関東東北豪雨など災害時の寄付仲介です。コモンズが被災地に拠点を置きながら被災者が必要としている物資を購入提供したり移動支援、サロン、情報紙発行など1年以上にわたる長期的な活動を支えてきました。(常総や熊本への支援は継続中)

三つ目は冠助成で現在2つの企業(社員の社会貢献組織を含む)から毎年約50万円の寄付を受け寄付者の意向に沿った活動を募集して選考と助成を行っています。四つ目はテーマ助成です。基金では、被災や病気など様々な困難を抱えた人が助け合うコミュニティをつくる活動、地域の未来を担う次世代の育成、空家や地域にある資源を生かしたまちづくり、の3つのテーマを設定し、独自の助成も行っています。3月にはこれら

のテーマで活動する事業に総額95万円の助成を行うことが決まりました。認知症の事を小学生にわかりやすく伝える活動、子ども食堂、自治会による子どものための無料塾立ち上げ、空家を活用した居場所づくり、などです。

共同募金や大きな財団と異なり、仲介する寄付の金額はそれほど多くありませんが、地域の課題や団体の状況をよく調べ、本当に資金を必要とする活動を地域に知らせ、寄付を集めて届け、その結果が寄付者に見えるようにする、さらに資金提供だけでなく事業のコーディネートや組織の基盤強化支援までを行い、寄付の効果を高めて課題解決の後押しをする。いばらきの未来を作るために寄付による地域貢献の輪を広げる仕組みがいばらき未来基金です。地域貢献を検討する際は、是非、未来基金をご活用ください。詳しくは <http://ibaraki-mirai.org>

いばらきの理解を深める9支部めぐり (第1回)

初回は、茨城経協そのものに焦点を当てたい。

1. 西の富士、東の筑波

2つの山を天秤棒に結わえつけて持ち上げた。筑波山は持ち上がったが富士山は動かない。つるが切れた。筑波山は地上へと。筑波山が2峰になった謂れである。ダイダラボッチが山や湖沼を作ったという伝承が日本各地にある。巨人信仰がダイダラボッチ伝説になった。

ダイダラボッチが貝を食べた地がある（常陸国風土記）。茨城県水戸市東部にある大串貝塚の程ない地にダイダラボッチの石造が創られている。水戸には幾つかの遺跡や貝塚があり、大塚新地遺跡などから弥生時代に水稲作が行われていたことが分かる。大化改新によって国、郡、里の地方制度が整えられ、水戸は常陸国那賀郡に属した。

平安時代末期に、平氏一門の馬場資幹が水戸台地に館を構えた。15世紀に江戸氏が水戸城に入城する。1590年（天正18年）、佐竹氏が江戸氏を攻めて北関東随一の大名となった。関ヶ原の戦いにおいて徳川氏に味方する態度を鮮明にしなかったからか、1602（慶長7年）年に佐竹氏は秋田へ国替えとなった。

徳川家康は、外様大名からの脅威を阻む地として、十一男頼房（威公）に水戸を25万石で封じ、後に35万石に加増する。藩主頼房は、水戸城の修築、城下町の拡張、整備を行った。上町の城下町を広げ、千波湖東側の低地を埋め立てて町人町をつくり、上町の町人を移して商工業の中心とした。

2. 水戸は城下町経済圏

水戸には、金沢の兼六園、岡山の後楽園とともに日本三名園として知られている梅の名園「偕楽園」がある。水戸は、市街地の北方から東方へと那珂川が流れる。低地の那珂川周辺部以外は概ね台地である。駅の西方に千波湖。中心部を含む市域の大部分は旧茨城郡（東茨城郡）であり、茨城県は県庁が茨城郡水戸に置かれたことに由来し、水戸は那珂川の舟運の河港として盛えていた水運の戸口が由って来る地名である。

水戸は、三陸・常磐型及び東海・関東型の中間的な気候である。夏は、オホーツク海気団からの北東気流の影響で最高気温は低め、真夏日日数は33.6日と関東甲信越以西の県庁所在地では最も少ないし、熱帯夜もほとんどない。冬は、晴天が続き、最高気温は関東以西では平均的、日中は暖かい。冬季の平均最低気温は仙台市や福島市よりも低く、強い寒気の元南岸低気圧が通過すると雪になる。

水戸に所縁がある地を頂点とするQuadrangle（四角形）の城下町経済圏を仮想することができる。角を成す2直線の交わる地が水戸市、敦賀市、彦根市そして高松市である。敦賀市は福井県嶺南地方の代表都市であり、尊王攘夷を掲げた天狗党を縁とする姉妹都市である。彦根市は滋賀県東部における商工業の中心地であり、桜田門外の変をきっかけとした親善都市である。高松は、四国の北東部、香川県の中央に位置する県庁所在地であり、水戸徳川家分家の高松松平家が治めた高松藩の城下町として盛えた。

水戸は商業都市であり、第三次産業が大半を占め、水戸都市圏（都市雇用圏）の人口は約66万人程である。主な産業は第三次産業、産業人口は15万人を超える。サービス業は30.4%、卸・小売業、飲食業は28.9%である。

3. より良い地域社会づくり

一般社団法人 茨城県経営者協会（略称：茨城経協）は、経営者の相互啓発と連携のもとに、創造的で活力ある企業経営の実現と産業経済の興隆を通じて地域社会に寄与することを目的としている。

茨城経協は、昭和22年設立以来、日本経営者団体連盟（旧：日経連）の一員として、企業経営の安定、勤労者の福利増進と労使関係の正常化及び地域社会づくりに貢献してきた。平成8年には会員の交流を活性化させ、活動領域を広めて創造的経営を推進し、総合的経済団体として「豊かな茨城づくり」に積極的に寄与していくことを確認し、経営活動を推進してきた。

平成14年5月には日経連と経団連との統合が行われ、両者が培ってきた経験とネットワークを共有し、21世紀にふさわしい総合的経済団体となった。茨城経協は、経団連の主要な経営者協会として活動している。会員企業は多岐多様な業種・規模にわたっており、平成29年3月現在、会員数は1,113社である。

茨城経協には、多様な会員を擁する自主的な団体の特性を活かして、相互交流及び相互啓発に努め、企業の体質強化と活性化のための事業活動を充実してきた。茨城経協は、より良い茨城の地域社会を次の世代に繋いでいくという決意である。

4. 企業戦略を後押しする

協会とは、ある目的のために会員が協力して維持する会であり、理念を実現するために集まっている会員組織である。良い経営者には最低限の条件がある。それは、投資と回収の仕組みを機能させて活動を継続しつつ経営をより円滑に行うことである。つまり、儲けることができることが経営者の最低限の条件である。茨城経協は、活動を通じて、良い経営者づくりを後押ししている。

投資と回収の仕組みづくりが戦略である。事業戦略、開発戦略、人事戦略など経営に関わる戦略(strategy)を複合して経営戦略と呼ぶ。戦略は、戦闘実行上の方策である戦術(tactics)よりも広範な概念であり、戦いに勝つための作戦計画である。経営環境に対して企業が効果的に適応するための基本的な方針や方策が経営戦略である。

社会的使命(ミッション)あるいは理念(ビジョン)を実践する場を事業領域(ドメイン)といい、事業領域における企業の効果的な行動方針が経営戦略であり、策定するレベル(階層)や目的に応じて分類することができる。企業が複数の事業を保有していたり、複数地域で事業を展開していたりする場合、戦略を策定あるいは実行するレベルにしたがって区別することもできる。個々の事業単位で優位性を構築し維持するのに関わるものが事業戦略または競争戦略である。

事業の取捨選択や複数事業間における資源配分など企業全体や企業グループ全体に関わる企業戦略を全社戦略(corporate strategy)という。開発、マーケティング、営業、財務、人事など機能ごとに戦略を策定する場合は機能別戦略といい、それぞれ、開発戦略、マーケティング戦略、営業戦略、財務戦略、人事戦略などという。

5. 戦略経営体づくりに寄与する

経営戦略を実践する企業の仕組みを戦略経営体という。戦略的投資あるいは戦略的提携など戦略的を接頭辞または形容詞として使用して経営の重要事項を実現するための方針や計画を戦略と呼ぶ場合もある。成長戦略、顧客獲得戦略、知的財産戦略、ICT戦略、技術戦略などという。例えば、戦略的人材開発は、経営方針や事業計画との適合を目的としつつ、社員のキャリア志向あるいは働き方に合わせて人材開発の対象者や対象領域を戦略的に構想し計画することであり、人材開発の予算や投資配分の範囲が重要となる。

経営戦略の策定、遂行および評価のプロセスを戦略経営という。戦略の策定は、自社や競合相手の能力や資源など内的要因、経済環境など外的要因を分析して評価し、評価に基づいて目標を設定する。戦略の実行は、戦略の実行に必要な資源を配分することをいい、階層構造など命令系統あるいは戦略を実現するためのタスクフォースやプロジェクト・チームなど組織構造を確立することになる。戦略の評価は、バランスド・スコアカードやSWOT分析などを用いて戦略の合理性、実行可能性、正当性など有効性を評価することである。

茨城経協は、筑波山の2つの峰に例えると、会員企業の経営戦略及び戦略経営体づくりを支援する自主性、独立性、公益性を有する県内唯一の総合的経済団体である。

葛田 一雄

労働省入省、民間会社の人事部長、マーケティング本部長を経て、コンサルタントファーム代表、大学講師、学校法人理事に就く。専門領域は、戦略経営体づくり、経営者研修、コンプライアンスおよび管理監督者育成である。主要単行本は、「役員力」(経団連出版)、「取締役・執行役員が実行すべき90のルール」(ぱる出版)などがある。

平成29年度・セミナー開催のご案内

※2017年4月1日時点の計画です。下記セミナー以外にも、様々なテーマでの開催を予定しております。詳細につきましては、当会報&協会ホームページを通じご案内して参ります。

対象	セミナー名	内 容	開催月日（会場）
取締役・ 経営幹部	マネジメントマスター コース （4回シリーズ）	役員&経営幹部を対象に、責務と 役割を学ぶ。	9月開催予定 茨城県産業会館
管理者・ リーダー	マネジメント力向上研修 （3回シリーズ）	管理者に組織運営上求められるス キルMTP（Management Training Program）を学ぶ。	平成30年1月開催 県央エリア
新任 管理者& リーダー	新任管理者研修 （2回シリーズ）	リーダーに必要なリーダーシッ プ、部下育成、コミュニケーション を学ぶ。	6/12(月)、6/19(月)開催 茨城県産業会館
総務 担当者	総務担当者向け研修 （2回シリーズ）	期待される総務担当者になるため の基本と実務。	8月開催 茨城県産業会館
職場 リーダー	職場リーダーグレード アップセミナー	部下のやる気と企業の活力を高め るノウハウ。	7月5日(水)開催 茨城県産業会館
若手社員	マナーアップ&クレーム 対応力強化セミナー	状況に応じたビジネスマナーを実 践しながら学ぶ。	6月27日(火)開催 茨城県産業会館
新入社員	新入社員フォローアップ セミナー	入社から半年間の振り返り、2年目 に飛躍的成長を遂げるための心構 えを学ぶ。	10月19日(木) 茨城県開発公社ビル
衛生 管理者	第I種・II種 衛生管理者 受験対策講座 （2日間コース）	第I種・II種 衛生管理者資格（国 家試験）取得支援事業。講師は試 験対策で評価の高いウエルネット 専属講師。	8/2(水)～3(木)開催 水戸プラザホテル
経営幹部、 製造幹部	ヒューマンエラー防止 セミナー	交通心理学を活用した交通事故防 止、産業行動学を活用した労働災 害防止を学ぶ。講師は中村隆宏氏 （関西大学社会安全学部教授）	10月27日(金)開催 水戸プラザホテル

対象	セミナー名	内 容	開催月日 (会場)
製造・ 生産現場 リーダー	5 S セミナー	“本物の5 S”と“見える化”を展開 するため効果的な実践方法を学 ぶ。	1月開催 県央エリア
経営者・ 管理者	事例に基づく職場の 労働法 (3回シリーズ)	最新の判例に基づきながら、その 解説と対応策を3回シリーズで学 ぶ。	10～12月開催 県央エリア
経営者・ 管理者	春季労使交渉・労使協議 対策講演会	春季労使交渉に臨む経営側の考え 方を学ぶ。	1月開催 県央エリア
環境部門 責任者	環境経営セミナー	最近の産廃判例と廃棄物処理法改 正の動向を学ぶ。	11月開催 県エリア
品質・環境 管理部門 責任者～ 担当者	I S O 14001・9001 内部監査員養成研修会	ISO14001・9001規格の内部監査員 を養成する2日間の研修。両企規 格とも3回ずつの開催。	(14001規格) ① 6/15(木)～16(金) ② 9/7(木)～8(金) ③ 12/7(木)～8(金) (9001規格) ① 5/18(木)～19(金) ② 7/6(木)～7(金) ③ 10/5(木)～6(金) (全て水戸開催)

【お問合せ先】

一般社団法人 茨城県経営者協会

Tel 029-221-5301 Fax 029-224-1109 Eメール：info@ikk.or.jp

インターンシップマッチングフェア in 筑波大学 参加企業募集

2017年6月14日(水) 14:30~17:00開催予定

このたび筑波大学キャンパス内におきまして、同学生を対象としましたインターンシップマッチングフェアを開催することとなりました。主に夏季休業中～秋口にかけて、インターンシップ受入を頂ける企業様のご参加をお待ちしております。

マッチングフェアに参加し、そこで出会う学生のインターンシップ受入れをご検討頂ける企業様は、下記「参加申込」に必要事項をご記入の上、ご連絡をお願い申し上げます。

■インターンシップマッチングフェア in 筑波大学開催概要

会場 筑波大学（つくば市天王台1-1-1）大学会館特別会議室

参加対象 筑波大学学生および大学院生（全学類）、約50名を想定

内容 ブース形式とし、インターンシップを希望する学生とインターンシップ受入企業が面談する。最初に参加企業紹介をした後、面談時間を4クール設ける。

※インターンシップ実習については最低5日間程度の内容を想定願います。

誠に勝手ながらOneDayインターンシップのような短期実習については、本マッチングフェアの対象外とさせていただきます。

参加費 無料

申込期限 2017年5月8日までに事務局までご連絡をお願い致します。

本件担当 一般社団法人茨城県経営者協会 事務局（後藤）

TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109 E-mail gotou@ikk.or.jp



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

PRIUS PHV



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、

未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。

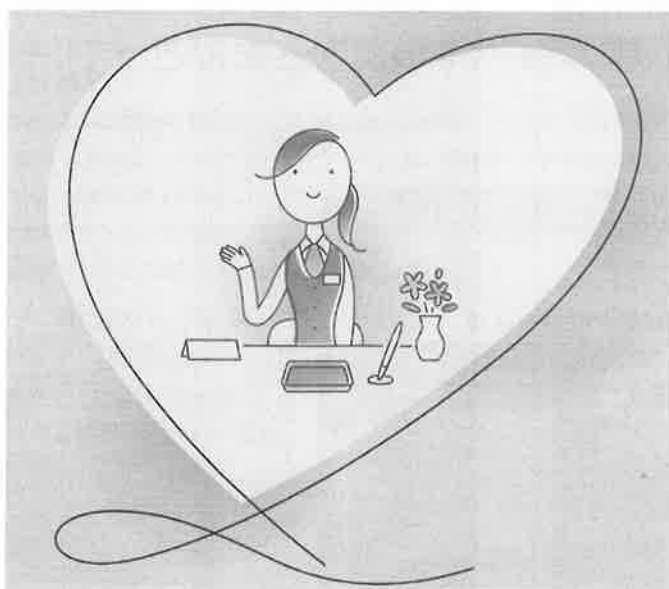
<http://www.tsukubabank.co.jp>



 筑波銀行
Tsukuba Bank



人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

 常陽銀行

 MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関する課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家をご紹介

協会・顧問弁護士
清水謙弁護士
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営
コンサルタント

その他
各専門家

お問い合わせ: 一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL: 029-221-5301 FAX: 029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp